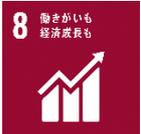


なんとSDGsパートナー宣言書（企業・団体用）

企業・団体名 遊部自治会

私たちは、南砺市におけるSDGsを取り入れたまちづくりに賛同し、南砺市と共にSDGs（持続可能な開発目標）の達成につながる取り組みを実施します。

1. 取り組みに関するSDGsのゴール（○を記入、複数選択可）

					
					
○				○	○
					
		○			

2. SDGsの達成につながる取り組みの内容

南砺市福光の西山山麓周辺には、古くから平地集落の柴刈りや草刈り山として入会地が多く存在している。遊部集落にも、西山の市道医王線沿いに入会地があり、8年前に広葉樹を採取するために、皆伐を行った場所がある。ここでは、萌芽による森林の天然更新を期待したが、クズやウルシ等の雑草木の繁茂が先行している。

この皆伐地において、森林機能の保全と資源の有効活用のため、茅場の造成を6年前より行ってきた。

南砺市での茅の供給状況については、コガヤに限って言えば五箇山地域での自給率は、平・上平地域で約70%であり、市内で5,000束が不足している。

このため、平成27年度より、五箇山地域外のモデル地区として南砺市での自給率を上げるためにこの事業を始め、毎年、下草刈り等の手入れと植栽地の拡張を図ってきた。

作業にあたっては地区住民と支援企業が協力して行い、地元の入会地での作業により里山の自然と触れ合う機会を作り、森林への関心と、世界遺産の合掌造り家屋の保存意識を高めて、住民のコミュニケーションの場としても取り組んできた。

森林資源の有効活用を図るため、住民と協力企業の協働で茅場の維持と造成を行う。

茅場の造成にあたっては、経験と実績のある富山県西部森林組合に、苗株の供給と地拵

え等を委託し、管理・植栽の指導を受けて行いたい。今後も五箇山地区以外での茅（コガヤ）栽培モデル地区として、生育ステージや適応性の検証、さらには稚茅の用途開発も続け、令和2年度より、本格的な茅収穫に取り組む事ができ、市内で茅の供給を増やすためにもこの事業を継続したい。

※1. で○を記入したゴールにつながる取り組みの内容などを記入